

注3

大学番号：私184

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

桜花学園大学 保育学部 国際教養こども学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 桜花学園
平成30年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	
職名・氏名	シムキョクチョウシマダ タカハル 事務局長 島田 隆治
電話番号	052-732-3553
（夜間）	052-732-3553
F A X	052-732-3422
e-mail	honb-som@ohka.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

保育学部

<国際教養こども学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	10
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	11
5. 教員組織の状況	12
6. 留意事項等に対する履行状況等	22
7. その他全般的事項	23

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 桜花学園

(2) 大学名

桜花学園大学

(3) 大学の位置

〒470-1193

愛知県豊明市栄町武侍48番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	オオタニ メグム 大谷 恩 平成17年10月		
学長	オオタニ タカネ 大谷 岳 平成29年4月		
学部長	アサノ タクジ 浅野 卓司 平成28年4月		
学科長等	タカハシ イチロウ 高橋 一郎 平成30年4月		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
保育学部 国際教養こども学科 学士(保育学)	教育学・保育学関係	4年	45人	3年次 3人	186人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	45人 (-) [-]	—人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.15倍	
志願者数	341 (-) [-]	— (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	322 (-) [-]	— (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	186 (-) [-]	— (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	52 (-) [-]	— (-) [-]	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.15									

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	52 [—] (—)	— [—] (—)									
2年次	/										
3年次											
4年次											
計			52 [—] (—)								

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	52人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
平成33年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
			平成33年度	人	人	
合計	52人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{52} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成33年度】

$$\frac{\text{平成33年度の退学者数(a)}}{\text{平成33年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保育学部 国際教養こども学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	現代社会と女性	1前		2								1
	女性とジェンダー	1前		2								1
	芸術の世界	1前		2			2					1
	文学の世界	1前		2								1
	心の探求	1前		2		1						1
	生き方の探求	1前		2								1
	生活と経済	1後		2								1
	地域社会	1後		2								1
	人間と歴史	1後		2								1
	異文化理解	1後		2					1			1
	日本の文化	1後		2								1
	国際関係論	1後		2		1						1
	世界の宗教	1後		2								1
	環境の科学	2前		2								1
	食と生命の科学	2前		2		1						2
	スポーツ健康論	1後		2		2						2
	スポーツ I	2後		1		1						1
	スポーツ II	2後		1								2
	統計学	4前		2								1
	社会調査法	4前		2								1
	情報社会論	4後		2								1
	コンピュータ I	1前	1									1
	コンピュータ II	1後	1									1
	NGO・NPO論	4前		2								1
共通教育科目	現代社会と企業	4前		2								1
	地域協力演習	4前		2								1
	インターンシップ(国内)	2後-4後		2								1
	インターンシップ(海外)	2後-4後		2								1
	ボランティア(海外)	2後-4後		2								1
	総合英語 I	1前	1				2		1			1
	総合英語 II	1後	1				2		1			1
	総合英語 III	2前	1									3
	総合英語 IV	2後	1									3
	英語コミュニケーション I	4前		1								1
英語コミュニケーション II	4後		1								1	
英語コミュニケーション III	4前		1								1	
英語コミュニケーション IV	4後		1								1	
ポルトガル語と文化 I	1前		1								1	
ポルトガル語と文化 II	1後		1								1	
スペイン語と文化 I	1前		1								1	
スペイン語と文化 II	1後		1								1	
フランス語と文化 I	1前		1								1	
フランス語と文化 II	1後		1								1	
中国語と文化 I	1前		1								1	
中国語と文化 II	1後		1								1	
中国語と文化 III	2前		1								1	
中国語と文化 IV	2後		1								1	
韓国語と文化 I	1前		1								1	
韓国語と文化 II	1後		1								1	
韓国語と文化 III	2前		1								1	
韓国語と文化 IV	2後		1								1	
日本国憲法	2後		2									1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	現代社会と女性	1前		2								1
	女性とジェンダー	1前		2								1
	芸術の世界	1前		2				2				1
	文学の世界	1前		2								1
	心の探求	1前		2			1					1
	生き方の探求	1前		2								1
	生活と経済	1後		2								1
	地域社会	1後		2								1
	人間と歴史	1後		2								1
	異文化理解	1後		2					1			1
	日本の文化	1後		2								1
	国際関係論	1後		2		1						1
	世界の宗教	1後		2								1
	環境の科学	2前		2								1
	食と生命の科学	2前		2		1						2
	スポーツ健康論	1後		2		2						2
	スポーツ I	2後		1		1						1
	スポーツ II	2後		1								2
	統計学	4前		2								1
	社会調査法	4前		2								1
	情報社会論	4後		2								1
	コンピュータ I	1前	1									1
	コンピュータ II	1後	1									1
	NGO・NPO論	4前		2								1
共通教育科目	現代社会と企業	4前		2								1
	地域協力演習	4前		2								1
	インターンシップ(国内)	2後-4後		2								1
	インターンシップ(海外)A	2後-4後		1								1
	インターンシップ(海外)B	2後-4後		2								1
	インターンシップ(海外)C	2後-4後		3								1
	インターンシップ(海外)D	2後-4後		4								1
	ボランティア(海外)	2後-4後		2								1
	総合英語 I	1前	1						3			1
	総合英語 II	1後	1						3			1
総合英語 III	2前	1									3	
総合英語 IV	2後	1									3	
英語コミュニケーション I	4前		1								1	
英語コミュニケーション II	4後		1								1	
英語コミュニケーション III	4前		1								1	
英語コミュニケーション IV	4後		1								1	
ポルトガル語と文化 I	1前		1								1	
ポルトガル語と文化 II	1後		1								1	
スペイン語と文化 I	1前		1								1	
スペイン語と文化 II	1後		1								1	
フランス語と文化 I	1前		1								1	
フランス語と文化 II	1後		1								1	
中国語と文化 I	1前		1								1	
中国語と文化 II	1後		1								1	
中国語と文化 III	2前		1								1	
中国語と文化 IV	2後		1								1	
韓国語と文化 I	1前		1								1	
韓国語と文化 II	1後		1								1	
韓国語と文化 III	2前		1								1	
韓国語と文化 IV	2後		1								1	
日本国憲法	2後		2									1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	海外研修A	2前~4後	2								3
	海外研修B	2前~4後	4								3
	基礎演習Ⅰ	1前	1			1	2				
	基礎演習Ⅱ	1後	1			1	2				
	エクステンション科目	1前~4後	6								
専門教育科目	発達心理学Ⅰ	1後	2			1					
	発達心理学Ⅱ	2後	2			1					
	幼児理解とカウンセリング	2後	2								1
	教育制度	4前	2								1
	家庭支援論	4後	2								1
	社会福祉	1後	2								1
	児童家庭福祉	2後	2			1					
	教育原理	1後	2								1
	保育原理	1前	2			1					
	社会的養護	2前	2								1
	教育心理学	4前	2			1					
	保育者論	1前	2			1					
	保育課程論	4後	2								1
	教育の方法	2後	2								1
	保育内容総論	1前	2								1
	保育内容指導演「生活と健康」	1後	2			1					
	保育内容指導演「生活と協同」	2後	2			1					
	保育内容指導演「生活と言葉」	1後	2								1
	保育内容指導演「生活と認識」	4前	2			1					
	保育内容指導演「生活と表現Ⅰ」	2後	2								1
	保育内容指導演「生活と表現Ⅱ」	4後	2			1					
	障害児保育	2後	2								1
	乳児保育	2前	2			1					
	社会的養護内容	2前	2								1
	国語	1後	2								1
	算数	2前	2								1
	生活	2後	2								1
	音楽ⅠA	1前	1				1				2
	音楽ⅠB	1後	1				1				2
	音楽ⅡA	2前	1				1				2
	音楽ⅡB	2後	1				1				2
	児童文化	1前	2								1
	海外の保育	2前	2				1				
	図画工作A	1後	1				1				
	図画工作B	1前	1								1
	体育A	4前	1				2				
	体育B	4後	1				2				
	子どもの保健ⅠA	1前	2			1					
	子どもの保健ⅠB	1後	2								1
	子どもの保健Ⅱ	2前	2								1
	子どもの食と栄養	2前	2								2
	相談援助	4後	2								1
	保育相談支援	4前	2								1
	教育相談	4後	2								1
	多文化共生研究	1前	2				1				
	地域研究Ⅰ	2前	2				1				
	地域研究Ⅱ	1前	2								1
地域研究Ⅲ	2前	2								1	
地域研究Ⅳ	2前	2								1	
地域研究Ⅴ	2後	2								1	
地域研究Ⅵ	2後	2								1	
ことばのメカニズム	4前	2				1					
Teaching English for Children	2前	2							1		
チームビルディング実践	1前	2			1						
Study Abroad Preparation	2後	1			1	2		1		3	
Basic Communication in EnglishⅠ	1前	1								2	
Basic Communication in EnglishⅡ	1後	1								2	
Intermediate Communication in EnglishⅠ	2前	1								2	
Intermediate Communication in EnglishⅡ	2後	1								2	
海外語学研修	3前・後	5			1	2			1	3	
海外保育留学	3前・後	10			1	2			1	3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	海外研修A	2前~4後	2								3
	海外研修B	2前~4後	4								3
	基礎演習Ⅰ	1前	1			1	2				
	基礎演習Ⅱ	1後	1			1	2				
	エクステンション科目	1前~4後	6								
専門教育科目	発達心理学Ⅰ	1後	2			1					
	発達心理学Ⅱ	2後	2			1					
	幼児理解とカウンセリング	2後	2								1
	教育制度	4前	2								1
	家庭支援論	4後	2								1
	社会福祉	1後	2								1
	児童家庭福祉	2後	2			1					
	教育原理	1後	2								1
	保育原理	1前	2			1					
	社会的養護	2前	2								1
	教育心理学	4前	2			1					
	保育者論	1前	2			1					
	保育課程論	4後	2								1
	教育の方法	2後	2								1
	保育内容総論	1前	2								1
	保育内容指導演「生活と健康」	1後	2			1					
	保育内容指導演「生活と協同」	2後	2			1					
	保育内容指導演「生活と言葉」	1後	2								1
	保育内容指導演「生活と認識」	4前	2			1					
	保育内容指導演「生活と表現Ⅰ」	2後	2								1
	保育内容指導演「生活と表現Ⅱ」	4後	2			1					
	障害児保育	2後	2								1
	乳児保育	2前	2			1					
	社会的養護内容	2前	2								1
	国語	1後	2								1
	算数	2前	2								1
	生活	2後	2								1
	音楽ⅠA	1前	1				1				2
	音楽ⅠB	1後	1				1				2
	音楽ⅡA	2前	1				1				2
	音楽ⅡB	2後	1				1				2
	児童文化	1前	2								1
	海外の保育	2前	2				1				
	図画工作A	1後	1				1				
	図画工作B	1前	1								1
	体育A	4前	1				2				
	体育B	4後	1				2				
	子どもの保健ⅠA	1前	2			1					
	子どもの保健ⅠB	1後	2								1
	子どもの保健Ⅱ	2前	2								1
	子どもの食と栄養	2前	2								2
	相談援助	4後	2								1
	保育相談支援	4前	2								1
	教育相談	4後	2								1
	多文化共生研究	1前	2				1				
	地域研究Ⅰ	2前	2				1				
	地域研究Ⅱ	1前	2								1
地域研究Ⅲ	2前	2								1	
地域研究Ⅳ	2前	2								1	
地域研究Ⅴ	2後	2								1	
地域研究Ⅵ	2後	2								1	
ことばのメカニズム	4前	2							1		
Teaching English for Children	2前	2							1		
チームビルディング実践	1前	2							1		
Study Abroad Preparation	2後	1			1	2		1		3	
Basic Communication in EnglishⅠ	1前	1								2	
Basic Communication in EnglishⅡ	1後	1								2	
Intermediate Communication in EnglishⅠ	2前	1								2	
Intermediate Communication in EnglishⅡ	2後	1								2	
海外語学研修	3前・後	5			1	2			1	3	
海外保育留学	3前・後	10			1	2			1	3	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	国際教養総論	4前	2			1						
	教育実習入門	1後	1			1	1					
	教育実習Ⅰ	2後		2		1	1					
	教育実習Ⅱ	4後		2		1	1					
	教育実習指導Ⅰ	2前		1		1	1					
	教育実習指導Ⅱ	4前		1		1	1					
	教職実践演習	4後		2		1	1					
	保育実践演習	4前		2		2	1					
	保育実習Ⅰ(保育所)	3後		2		1						
	保育実習Ⅰ(施設)	3後		2		1						
	保育実習Ⅱ	4前		2		1						
	保育実習Ⅲ	4前		2		1						
	保育実習指導Ⅰ(保育所)	3後		1		1						
	保育実習指導Ⅰ(施設)	3後		1		1						
	保育実習指導Ⅱ	4前		1		1						
	保育実習指導Ⅲ	4前		1		1						
	海外保育フィールド・スタディ	1前	2			1	1					
	海外幼児教育インターンシップ	1後		2			1		1			
	総合演習A	2前		1		1	1		1			
	総合演習B	2後		1		1	1		1			
卒業研究演習Ⅰ	4前		1		3	4		1				
卒業研究演習Ⅱ	4後		1		3	4		1				
卒業研究	集中		2		3	4		1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	国際教養総論	4前	2			1						
	教育実習入門	1後	1			1	1					
	教育実習Ⅰ	2後		2		1	1					
	教育実習Ⅱ	4後		2		1	1					
	教育実習指導Ⅰ	2前		1		1	1					
	教育実習指導Ⅱ	4前		1		1	1					
	教職実践演習(幼)	4後		2		1	1					
	保育実践演習	4前		2		2	1					
	保育実習Ⅰ(保育所)	3後		2		1						
	保育実習Ⅰ(施設)	3後		2		1						
	保育実習Ⅱ	4前		2		1						
	保育実習Ⅲ	4前		2		1						
	保育実習指導Ⅰ(保育所)	3後		1		1						
	保育実習指導Ⅰ(施設)	3後		1		1						
	保育実習指導Ⅱ	4前		1		1						
	保育実習指導Ⅲ	4前		1		1						
	海外保育フィールド・スタディ	1前	2			1	1					
	海外幼児教育インターンシップ	1後		2					2			
	総合演習A	2前		1		1	1		2			
	総合演習B	2後		1		1	1		2			
卒業研究演習Ⅰ	4前		1		3	4		5				
卒業研究演習Ⅱ	4後		1		3	4		5				
卒業研究	集中		2		3	4		5				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 - ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・「インターンシップ（海外）」は大学の共通教育科目であり、さらなる充実をはかるため「インターンシップ（海外）A」、「インターンシップ（海外）B」、「インターンシップ（海外）C」、「インターンシップ（海外）D」に変更し、単位を2から「インターンシップ（海外）A」1単位、「インターンシップ（海外）B」2単位、「インターンシップ（海外）C」3単位、「インターンシップ（海外）D」4単位へ変更し、各科目担当教員を兼任1へ変更。
- ・担当教員の昇格により、「異文化理解」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」「助教1」から「准教授3」に変更。「Teaching English for Children」の専任教員の配置を「助教1」から「准教授1」へ変更。「Study Abroad Preparation」「海外語学研修」「海外保育留学」の専任教員の配置を「准教授2」「助教1」から「准教授3」に変更。「海外幼児教育インターンシップ」の専任教員の配置を「准教授1」「助教1」から「准教授2」へ変更。「総合演習A」「総合演習B」の専任教員の配置を「教授1」「准教授1」「助教1」から「教授1」「准教授2」へ変更。「卒業研究演習Ⅰ」「卒業研究演習Ⅱ」「卒業研究」の専任教員の配置を「教授3」「准教授4」「助教1」から「教授3」「准教授5」へ変更。
- ・課程認定における文部科学省の指摘により、「教育心理学」「保育者論」「保育課程論」「保育内容指導法「生活と健康」」「保育内容指導法「生活と協同」」「保育内容指導法「生活と言葉」」「保育内容指導法「生活と認識」」「保育内容指導法「生活と表現Ⅰ」」「保育内容指導法「生活と表現Ⅱ」」「教育相談」を選択から必修へ変更、「Teaching English for Children」「チームビルディング実践」を必修から選択へ変更。
- ・課程認定における文部科学省の指摘により「教職実践演習」の科目名を「教職実践演習（幼）」へ変更

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
38	103	0	141	46	98	0	144	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[8]	[△5]	[0]	[3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」
該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合
該当なし

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{\#VALUE!} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	名古屋短期大学 (必要面積8,500㎡) と共用		
	校舎敷地	㎡	45,004.99㎡	㎡	45,004.99㎡			
	運動場用地	㎡	16,423.63㎡	㎡	16,423.63㎡			
	小 計	㎡	61,428.62㎡	㎡	61,428.62㎡			
	そ の 他	㎡	12,746.47㎡	㎡	12,746.47㎡			
	合 計	㎡	74,175.09㎡	㎡	74,175.09㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	名古屋短期大学 (必要面積6,950㎡) と共用			
	5,038.42㎡ (5,038.42㎡)	12,124.74㎡ (12,124.74㎡)	3,406.96㎡ (3,406.96㎡)	20,570.12㎡ (20,570.12㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	33室	52室	5室	7室 (補助職員 2人)	1室 (補助職員 0人)	名古屋短期大学 と共用		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	保育学部 国際教養こども学科			11 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標 本		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種				電子ジャーナル〔うち外国書〕	点
	保育学部国際教養こども学科	232,785 [25,766] (52,249 [8,993])	331 [57] (91 [46])	0 [0] (0 [0])	6,339 (6,339)	0 (0)	0 (0)	
	計	232,785 [25,766] (52,249 [8,993])	331 [57] (91 [46])	0 [0] (0 [0])	6,339 (6,339)	0 (0)	0 (0)	
(6) 図書館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	2,194.52㎡	320		240,000				
(7) 体育館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				名古屋短期大学 と共用		
	2,237.60㎡	テニスコート2面		ゴルフ練習場10打席				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	420千円	420千円	図書購入費	50千円	500千円	500千円
	共同研究費等	3,500千円	3,500千円	設備購入費	500千円	1,500千円	500千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,457千円	1,217千円	1,217千円	1,217千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	桜花学園大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次	人		倍			
保育学部 国際教養こども学科	4	45	3年次 3	186	学士 (保育学)	1.15	平成30年度	愛知県豊明市栄町武待48番地	
保育学部 保育学科	4	130	3年次 2	524	学士 (保育学)	1.12	平成14年度	同上	
学芸学部 英語学科	4	50	3年次 5	210	学士 (英語)	0.58	平成21年度	同上	
人間文化研究科 人間科学専攻	2	5	-	10	修士 (人間科学専攻)	0.4	平成14年度	同上	
地域文化専攻	2	5	-	10	修士 (地域文化専攻)	0	平成14年度	同上	
大学の名称	名古屋短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍			
保育科	2	240	-	480	短期大学士 (保育学)	1.06	昭和30年度	愛知県豊明市栄町武待48番地	
英語コミュニケーション学科	2	80	-	160	短期大学士 (英語)	1.03	昭和51年度	同上	
現代教養学科	2	105	-	210	短期大学士 (現代教養)	0.92	昭和57年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<保育学部 国際教養こども学科>

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	担当授業科目名
専	教授	布施 佐代子 (64) <平成30年4月>	心の探求 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅰ 教育心理学 教育実習指導Ⅱ 教育実習Ⅱ 教職実践演習	専	教授	布施 佐代子 (64) <平成30年4月>	心の探求 発達心理学Ⅰ 発達心理学Ⅱ 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅰ 教育心理学 教育実習指導Ⅱ 教育実習Ⅱ 教職実践演習
専	教授	原田 明美 (65) <平成30年4月>	保育者論 保育原理 乳児保育 児童家庭福祉 保育内容指導法「生活と協同」 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅱ 保育内容指導法「生活と認識」 保育実習Ⅱ 保育実践演習	専	教授	原田 明美 (65) <平成30年4月>	保育者論 保育原理 乳児保育 児童家庭福祉 保育内容指導法「生活と協同」 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅱ 保育内容指導法「生活と認識」 保育実習Ⅱ 保育実践演習
専	教授	高橋 一郎 (58) <平成30年4月>	多文化共生研究 海外保育フィールド・スタディ 国際関係論 地域研究Ⅰ 総合演習A Study Abroad Preparation 総合演習B 海外語学研修 海外保育留学 国際教養総論 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究	専	教授	高橋 一郎 (58) <平成30年4月>	多文化共生研究 海外保育フィールド・スタディ 国際関係論 地域研究Ⅰ 総合演習A Study Abroad Preparation 総合演習B 海外語学研修 海外保育留学 国際教養総論 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	寺田 恭子 (54) <平成30年4月>	教育実習入門 チームビルディング 実践 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ スポーツ健康論 スポーツⅠ 体育A 卒業研究演習Ⅰ 体育B 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究	専	教授	寺田 恭子 (54) <平成30年4月>	教育実習入門 チームビルディング 実践 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ スポーツ健康論 スポーツⅠ 体育A 卒業研究演習Ⅰ 体育B 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	教授	木村 達志 (53) <平成30年4月>	保育内容指導法「生活と健康」 スポーツ健康論 子どもの保健ⅠA 食と生命の科学 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ 体育A 卒業研究演習Ⅰ 保育実践演習 体育B 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究	専	教授	木村 達志 (53) <平成30年4月>	保育内容指導法「生活と健康」 スポーツ健康論 子どもの保健ⅠA 食と生命の科学 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅲ 保育実習Ⅲ 体育A 卒業研究演習Ⅰ 保育実践演習 体育B 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	内田 政一 (52) <平成30年4月>	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 海外幼児教育インターンシップ 総合演習A Study Abroad Preparation 総合演習B 海外語学研修 海外保育留学 ことばのメカニズム 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究	専	准教授	内田 政一 (52) <平成30年4月>	総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 海外幼児教育インターンシップ 総合演習A Study Abroad Preparation 総合演習B 海外語学研修 海外保育留学 ことばのメカニズム 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	准教授	石山 英明 (48) <平成30年4月> 音楽ⅠA 基礎演習Ⅰ 芸術の世界 音楽ⅠB 基礎演習Ⅱ 音楽ⅡA 音楽ⅡB 卒業研究演習Ⅰ 保育実践演習 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	田端 智美 (48) <平成30年4月> 教育実習入門 基礎演習Ⅰ 芸術の世界 図画工作A 基礎演習Ⅱ 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅰ 保育内容指導法「生活と表現Ⅱ」 卒業研究演習Ⅰ 教育実習指導Ⅱ 卒業研究演習Ⅱ 教職実践演習 教育実習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	小野 克志 (48) <平成30年4月> 海外保育フィールド・スタディ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 海外の保育 Study Abroad Preparation 海外語学研修 海外保育留学 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	助教	加藤 あや美 (38) <平成30年4月> 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解 海外幼児教育インターンシップ 総合演習A Teaching English for Children Study Abroad Preparation 総合演習B 海外語学研修 海外保育留学 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
兼任	教授	小嶋 玲子 (62) <平成31年4月> 幼児理解とカウンセリング 保育相談支援 教育相談
兼任	教授	金子 晃之 (56) <平成30年4月> 教育原理 教育制度
兼任	教授	太田 早津美 (65) <平成33年4月> 家庭支援論
兼任	教授	古畑 淳 (46) <平成30年4月> 社会福祉
兼任	准教授	上村 晶 (42) <平成33年4月> 保育課程論
兼任	准教授	北島 信子 (43) <平成31年4月> 教育の方法 生活
兼任	教授	市野 繁子 (55) <平成30年4月> 保育内容総論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	准教授	石山 英明 (48) <平成30年4月> 音楽ⅠA 基礎演習Ⅰ 芸術の世界 音楽ⅠB 基礎演習Ⅱ 音楽ⅡA 音楽ⅡB 卒業研究演習Ⅰ 保育実践演習 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	田端 智美 (48) <平成30年4月> 教育実習入門 基礎演習Ⅰ 芸術の世界 図画工作A 基礎演習Ⅱ 教育実習指導Ⅰ 教育実習Ⅰ 保育内容指導法「生活と表現Ⅱ」 卒業研究演習Ⅰ 教育実習指導Ⅱ 卒業研究演習Ⅱ 教職実践演習 教育実習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	小野 克志 (48) <平成30年4月> 海外保育フィールド・スタディ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 海外の保育 Study Abroad Preparation 海外語学研修 海外保育留学 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
専	准教授	加藤 あや美 (38) <平成30年4月> 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 異文化理解 海外幼児教育インターンシップ 総合演習A Teaching English for Children Study Abroad Preparation 総合演習B 海外語学研修 海外保育留学 卒業研究演習Ⅰ 卒業研究演習Ⅱ 卒業研究
兼任	教授	小嶋 玲子 (63) <平成31年4月> 幼児理解とカウンセリング 保育相談支援 教育相談
兼任	教授	金子 晃之 (56) <平成30年4月> 教育原理 教育制度
兼任	教授	太田 早津美 (65) <平成33年4月> 家庭支援論
兼任	教授	古畑 淳 (46) <平成30年4月> 社会福祉
兼任	准教授	上村 晶 (42) <平成33年4月> 保育課程論
兼任	准教授	北島 信子 (43) <平成31年4月> 教育の方法 生活
兼任	講師	市野 繁子 (55) <平成30年4月> 保育内容総論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	勝浦 眞仁 (37) <平成31年4月> 障害児保育
兼任	准教授	森川 拓也 (53) <平成30年4月> 国語
兼任	准教授	基村 昌代 (47) <平成30年4月> 芸術の世界 音楽ⅡA 音楽ⅡB
兼任	教授	浅野 卓司 (48) <平成30年4月> 図画工作B
兼任	教授	辻岡 和代 (40) <平成31年4月> 食と生命の科学 子どもの食と栄養
兼任	教授	嶋守 さやか (46) <平成30年4月> 現代社会と女性 地域社会
兼任	教授	藤田 公和 (63) <平成31年4月> 食と生命の科学
兼任	教授	成田 弘成 (64) <平成30年4月> 女性とジェンダー 世界の宗教 地域研究VI インターンシップ (海外) ボランティア (海外) NGO・NPO論
兼任	教授	森田 優己 (63) <平成30年4月> 生活と経済
兼任	教授	根尾 文彦 (62) <平成31年4月> 現代社会と企業 地域協力演習 インターンシップ (国内)
兼任	教授	高 文軍 (63) <平成30年4月> 中国語と文化Ⅰ 中国語と文化Ⅱ 海外研修A 海外研修B
兼任	准教授	布和 (51) <平成31年4月> 中国語と文化Ⅲ 中国語と文化Ⅳ
兼任	教授	都 恩珍 (48) <平成31年4月> 韓国語と文化Ⅲ 韓国語と文化Ⅳ 海外研修A 海外研修B
兼任	准教授	井川 恵理 (56) <平成31年4月> 海外研修A 海外研修B
兼任	講師	吉見 昌弘 (53) <平成30年4月> 保育内容指導法「生活と言葉」
兼任	講師	太田 昌孝 (58) <平成30年4月> 文学の世界

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	勝浦 眞仁 (38) <平成31年4月> 障害児保育
兼任	准教授	森川 拓也 (53) <平成30年4月> 国語
兼任	准教授	基村 昌代 (47) <平成30年4月> 芸術の世界 音楽ⅡA 音楽ⅡB
兼任	教授	浅野 卓司 (48) <平成30年4月> 図画工作B
兼任	教授	辻岡 和代 (41) <平成31年4月> 食と生命の科学 子どもの食と栄養
兼任	教授	嶋守 さやか (46) <平成30年4月> 現代社会と女性 地域社会
兼任	教授	藤田 公和 (63) <平成31年4月> 食と生命の科学
兼任	教授	成田 弘成 (64) <平成30年4月> 女性とジェンダー 世界の宗教 地域研究VI インターンシップ (海外) A インターンシップ (海外) B インターンシップ (海外) C インターンシップ (海外) D ボランティア (海外) NGO・NPO論
兼任	教授	森田 優己 (63) <平成30年4月> 生活と経済
兼任	教授	根尾 文彦 (62) <平成31年4月> 現代社会と企業 地域協力演習 インターンシップ (国内)
兼任	教授	高 文軍 (63) <平成30年4月> 海外研修A 海外研修B
兼任	准教授	布和 (51) <平成31年4月> 中国語と文化Ⅰ 中国語と文化Ⅱ 中国語と文化Ⅲ 中国語と文化Ⅳ
兼任	教授	都 恩珍 (48) <平成31年4月> 韓国語と文化Ⅲ 韓国語と文化Ⅳ 海外研修A 海外研修B
兼任	准教授	井川 恵理 (56) <平成31年4月> 海外研修A 海外研修B
兼任	講師	吉見 昌弘 (53) <平成30年4月> 保育内容指導法「生活と言葉」
兼任	講師	太田 昌孝 (58) <平成30年4月> 文学の世界

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	井上 文人 (65) <平成30年4月> 生き方の探求
兼任	講師	辻 広志 (54) <平成31年4月> 環境の科学
兼任	講師	上原 隆司 (36) <平成33年4月> 統計学
兼任	講師	上野 善子 (50) <平成30年4月> 子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	近藤 日出夫 (66) <平成31年4月> 社会的養護 相談援助
兼任	講師	麓 洋介 (46) <平成31年4月> 保育内容指導法「生活と表現Ⅰ」
兼任	講師	上田 一穂 (36) <平成31年4月> 社会的養護内容
兼任	講師	小林 美記代 (65) <平成31年4月> 算数
兼任	講師	古賀 弘之 (45) <平成30年4月> 音楽ⅠA 音楽ⅠB
兼任	講師	加藤 希央 (47) <平成30年4月> 音楽ⅠA 音楽ⅠB 音楽ⅡA 音楽ⅡB
兼任	講師	浦中 浩一 (39) <平成30年4月> 児童文化
兼任	講師	鈴木 昌子 (61) <平成31年4月> 子どもの食と栄養
兼任	講師	平沼 公子 (37) <平成30年4月> 地域研究Ⅱ
兼任	講師	梅木 陽子 (34) <平成31年4月> 地域研究Ⅲ
兼任	講師	生井 正人 (53) <平成31年4月> 地域研究Ⅳ
兼任	講師	織田 まゆみ (63) <平成31年4月> 地域研究Ⅴ
兼任	講師	小久保 嘉紀 (38) <平成30年4月> 人間と歴史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	井上 文人 (65) <平成30年4月> 生き方の探求
兼任	講師	辻 広志 (54) <平成31年4月> 環境の科学
兼任	講師	上原 隆司 (36) <平成33年4月> 統計学
兼任	講師	上野 善子 (50) <平成30年4月> 子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	近藤 日出夫 (66) <平成31年4月> 社会的養護 相談援助
兼任	講師	麓 洋介 (46) <平成31年4月> 保育内容指導法「生活と表現Ⅰ」
兼任	講師	上田 一穂 (36) <平成31年4月> 社会的養護内容
兼任	講師	小林 美記代 (65) <平成31年4月> 算数
兼任	講師	古賀 弘之 (45) <平成30年4月> 音楽ⅠA 音楽ⅠB
兼任	講師	加藤 希央 (47) <平成30年4月> 音楽ⅠA 音楽ⅠB 音楽ⅡA 音楽ⅡB
兼任	講師	浦中 浩一 (39) <平成30年4月> 児童文化
兼任	講師	鈴木 昌子 (61) <平成31年4月> 子どもの食と栄養
兼任	講師	平沼 公子 (37) <平成30年4月> 地域研究Ⅱ
兼任	講師	梅木 陽子 (34) <平成31年4月> 地域研究Ⅲ
兼任	講師	生井 正人 (53) <平成31年4月> 地域研究Ⅳ
兼任	講師	織田 まゆみ (63) <平成31年4月> 地域研究Ⅴ
兼任	講師	小久保 嘉紀 (38) <平成30年4月> 人間と歴史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	マーチン ベルドン (43) <平成30年4月> 日本の文化
兼任	講師	横井 康博 (49) <平成31年4月> スポーツ I
兼任	講師	榎本 宣子 (65) <平成31年4月> スポーツ II
兼任	講師	小橋 浩世 (50) <平成31年4月> スポーツ II
兼任	講師	南 裕一郎 (45) <平成33年4月> 社会調査法
兼任	講師	木村 登次 (58) <平成33年4月> 情報社会論
兼任	講師	鬼頭 恭子 (51) <平成30年4月> コンピュータ I コンピュータ II
兼任	講師	石川 香代子 (52) <平成30年4月> 総合英語 I 総合英語 II
兼任	講師	佐藤 裕子 (66) <平成31年4月> 総合英語 III 総合英語 IV
兼任	講師	高橋 妙子 (55) <平成31年4月> 総合英語 III 総合英語 IV
兼任	講師	三浦 紀美代 (39) <平成31年4月> 総合英語 III 総合英語 IV
兼任	講師	ハーラー タニエル リー (36) <平成33年4月> 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II
兼任	講師	ジェイミー ローランド エイドリアン モ リッシュ (40) <平成33年4月> 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV
兼任	講師	アントゥネス 富松 エ ミ (57) <平成30年4月> ポルトガル語と文化 I ポルトガル語と文化 II
兼任	講師	ロンセロス ロサリオ (55) <平成30年4月> スペイン語と文化 I スペイン語と文化 II
兼任	講師	中島 潤 (45) <平成30年4月> フランス語と文化 I フランス語と文化 II
兼任	講師	金 三淑 (47) <平成30年4月> 韓国語と文化 I 韓国語と文化 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	マーチン ベルドン (44) <平成30年4月> 日本の文化
兼任	講師	横井 康博 (49) <平成31年4月> スポーツ I
兼任	講師	榎本 宣子 (65) <平成31年4月> スポーツ II
兼任	講師	小橋 浩世 (50) <平成31年4月> スポーツ II
兼任	講師	南 裕一郎 (45) <平成33年4月> 社会調査法
兼任	講師	木村 登次 (58) <平成33年4月> 情報社会論
兼任	講師	鬼頭 恭子 (51) <平成30年4月> コンピュータ I コンピュータ II
兼任	講師	石川 香代子 (52) <平成30年4月> 総合英語 I 総合英語 II
兼任	講師	佐藤 裕子 (66) <平成31年4月> 総合英語 III 総合英語 IV
兼任	講師	高橋 妙子 (55) <平成31年4月> 総合英語 III 総合英語 IV
兼任	講師	三浦 紀美代 (39) <平成31年4月> 総合英語 III 総合英語 IV
兼任	講師	ハーラー タニエル リー (36) <平成33年4月> 英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II
兼任	講師	ジェイミー ローランド エイドリアン モ リッシュ (40) <平成33年4月> 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV
兼任	講師	アントゥネス 富松 エ ミ (58) <平成30年4月> ポルトガル語と文化 I ポルトガル語と文化 II
兼任	講師	ロンセロス ロサリオ (55) <平成30年4月> スペイン語と文化 I スペイン語と文化 II
兼任	講師	中島 潤 (45) <平成30年4月> フランス語と文化 I フランス語と文化 II
兼任	講師	金 三淑 (47) <平成30年4月> 韓国語と文化 I 韓国語と文化 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
兼任	講師	早野 暁 (48) <平成31年4月> 日本国憲法	兼任	講師	早野 暁 (48) <平成31年4月> 日本国憲法
兼任	講師	千賀 メリッサ (57) <平成30年4月> Basic Communication in English I Basic Communication in English II Intermediate Communication in English I Intermediate Communication in English II	兼任	講師	千賀 メリッサ (57) <平成30年4月> Intermediate Communication in English I Intermediate Communication in English II
			兼任	講師	ジュネジャ インドウ (63) <平成30年4月> Basic Communication in English I Basic Communication in English II
兼任	講師	ローレン ランズベリー (42) <平成30年4月> Basic Communication in English I Basic Communication in English II Intermediate Communication in English I Intermediate Communication in English II	兼任	講師	ローレン ランズベリー (42) <平成30年4月> Basic Communication in English I Basic Communication in English II Intermediate Communication in English I Intermediate Communication in English II

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字の赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

(記入例)

- ・上野善子講師辞任により、船井廣則講師就任。
- ・平成30年4月ジュネジャ・インドゥ講師就任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **限可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
5	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)
5	4	0	1	10	5	5	0	0	10	5	5	0	0	10
(5)	(4)	(0)	(1)	(10)						[0]	[1]	[0]	[Δ1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記(B)）の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{10} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{1}{10} = \boxed{10} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	……………のため就任辞退（28）	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	……………のため就任辞退（30）	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計（D）			後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
○○	人	必修	#VALUE! 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	H28.3.31付け……………のため辞任（28）	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	H30.3.31付け……………のため辞任（30）	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計（F）			後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
○○	人	必修	#VALUE! 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計 該当なし

合計（D）+（F）		後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
#VALUE!	人	必修	#VALUE! 科目	必修	##### 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	##### 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	##### 科目
		計	#VALUE! 科目	計	##### 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率 該当なし

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{\#VALUE!}{0} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	◎◎ ◎◎	必修	○○概論	①	H28.3.31付け65歳で定年退職 (28)	
			選択	◆◆基礎	②		
			必修	☆☆演習	③		
2	准教授	△△ △△	自由	××語	②	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)	
			必修	▲▲実習	③		
			必修	◇◇特論	①		
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
○○	人	必修	#VALUE! 科目	必修	○○ 科目	必修	○○ 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	○○ 科目	選択	○○ 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	○○ 科目	自由	○○ 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成30年4月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	留意事項 本学科は平成33年度の完成年度に、60代の教員3名、50代6名、40代1名となり、そのうち60代の教員2名が退職予定である。後任は年齢構成的にも30代から40代の教員採用を計画しているとともに、今後教員の採用事案が生じた場合も、学科教員の年齢構成に十分配慮しつつ採用することとする。	未履行 本学科が所属する保育学部全体の教員構成の再構築の中で、特に留意事項を重点事項と定め、今後の教員組織構成の検討を始めていく。教員の年齢構成のみならず、その職位についても実績とバランスを考慮しながら学科の適切な教員組織編成に向けて計画的に進めていく。既に年度当初に保育学部長、両学科長（国際教養こども学科、保育学科）で年齢構成を含めた教員構成に関する会合を持ち検討を重ねる。こうした会議を今後定期的に行うことを申し合わせている。
設 置 時 (平成30年4月)	桜花学園大学学芸学部英語学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項 本学科は設置以来、入学定員を80名としてきたが、カリキュラム改革などによって学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しを検討し、平成28年度よりこれを50名に改めた。その結果、平成30年5月時点では、本学科の収容定員充足率の平均が0.5倍を越えた。	未履行 平成28年度に実施したカリキュラム改革などの成果と、入学定員の見直しにより、定員充足率は急速に回復してきている。加えて平成30年度からは3年次における新しい留学プログラムの広報をスタートさせる。そうした教育内容の充実と入学定員見直しの着実な実施により、定員充足を図る。

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<保育学部 国際教養こども学科>

(1) 設置計画変更事項等 該当なし

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>桜花学園大学FD委員会規程に基づいて、委員会が構成されている。国際教養こども学科設置に伴い、当学科より委員を選出しFD活動に関わるものとする。教員が10名と少数のため、学科内にFD委員会を設置するのではなく、大学全体の活動に参加するものとする。なお、新学科開設時には開始時には特に授業内容や方法に注意しながら進める必要があり、学科独自の活動として委員会組織にとらわれず学科内でFDに関する意見交換を進める。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>教学上の観点から教務委員会と密接に連携を取りながらFD活動に努める。従って、教務委員会実施後にFD委員会を行うものとし、定例委員会として委員会開催予定である。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>桜花学園大学のFD委員会規程に基づき、以下に掲げる事項を取り扱い審議する。</p> <p>(1) FDのための基本方針を移管する事項 (2) FDのための研修会等の開催に関する事項 (3) その他FDに関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>a 実施内容</p> <p>a-1 授業方法についての研究会</p> <p>新規開設学科として、新年度の最初の出しを重要なものと考え、4月末に「新学科1年ゼミ運営に関する研究会」を実施する。これは1年ゼミを担当する3名の教員がゼミ活動についての実践報告を行い、それに対する質疑と今後のゼミ運営に対する助言、意見交換を学科全体で行い、学生の学修状況の確認と指導の改善を図るものである。</p> <p>a-2 教員相互の授業参観</p> <p>学科開設初年度における授業の運営・学生評価に関する協議を進める上で、平成30年4月中に全教員が所定の学科学生全員参加の授業への相互授業参観を行った。</p> <p>a-3 新任教員のための研修会</p> <p>新任教員のため研修を次の3回に渡り実施した。①学園本部にて研修を行った。桜花学園の建学の精神をはじめとした当学園の沿革と理念を理解してもらうものと位置づけて実施した。②事務局研修を行った。大学組織の概要、研究費等、経理上の手続きと倫理面でのあり方などが説明された。③最後に学科長より、桜花学園大学のある名古屋キャンパスの教学上の取り組みとその成果などについて説明を行った。また新学科の重要な柱となる、海外保育留学についてその詳細を説明した。これら一連の4月の研修を通して新任教員がスムーズに業務が遂行できるようにした。</p> <p>b 実施方法</p> <p>授業方法についての研究会 全教員が出席して一堂に会し意見交換を行う。 教員相互の授業参観全員受講の科目を予め学科教員に明示し、自らの授業担当時間と重ならないものに授業参観をさせる。 新任教員のための研修会①と②は他学科の新任教員を含めての研修、③は国際教養こども学科のみの独自プログラムで実践した。</p>
--

c 開催状況（教員の参加状況含む）

授業方法についての研究会 全10名全員参加（平成30年4月25日）

教員相互の授業参観 全10名全員実施（平成30年4月）

新任教員のための研修会 新任教員1名が上記3つの研修会に出席（いずれも平成30年4月）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教員相互の授業参観では、全員が所定の書式に基づいた報告書を学科長に提出した。これらを集計し、平成30年5月下旬に実施予定の次回研究会で分析し、今後の取り組みの糧とする予定である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・評価の有無及び実施状況

評価の有無 実施している。

毎年学期末に全授業（一部少人数クラスを除く）で実施している。

これらを科目ごとにまとめ、各教員に結果が渡される。その結果を見て、今後どのような改善策を講じるのか、といった「授業アンケートに対する教員アンケート」を大学全体として行っている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学内ネットワーク「Moodle」上にて授業評価アンケートを公開している

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
 - ・ 保育学部国際教養こども学科は平成30年4月開設のため、総括的な評価は平成31年以降の報告となる。
 - ・ 本年度は申請書に従い適正に遂行。
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表（予定）時期
平成31年3月 冊子発行予定
 - b 公表方法
学園内の教職員（短期大学教員、高校の教員等）に公表予定
ホームページ上でも公表予定
- ③ 認証評価を受ける計画
平成34年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受ける予定で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

- 設置計画履行状況報告書
 - a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)
 - b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (2018年5月末)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。